取組分野
その他

19 年度-No.51　　熊本県　八千代市

「ひのみどり」による産地再興

千丁町ひのみどり会
（せんちょうちょうひのみどりかい）

HP　なし

事業の概要

活用資源
伝統
特産
技術

○い草農家が激減し産地が危機的状況に陥った中、産地の生き残りをかけて研究会を立ち上げ、優良品種「ひのみどり」で畳表のブランド確立と農業経営の安定を図っている。

○ひのみどり会が中心となって栽培から加工・流通までの問題点を打開し、町内外での「ひのみどり」普及を牽引。

○い草生産者の団結・生産意欲の向上で、県全体のブランド確立にも大きく貢献。

取組分野
交流

19 年度-No.53　　熊本県　山都町

文楽の里づくり

財団法人清和文楽の里協会
（ざいだんほうじんせいわぶんらくのさときょうかい）

http://www.town.kumamoto-yamato.lg.jp/bunrakunosato/

事業の概要

活用資源
自然
伝統
特産

○熊本県に唯一残る人形芝居「清和文楽」とともに受け継がれてきた郷土料理や農村文化による文楽の里づくりで、地域内で若者が残り定住できる職場を創出。

○文楽の里のイメージを活かした農産物のブランド化、生産から加工・販売への 6 次産業化などにより、所得率の向上を図る。

○観光との連携による都市からの交流人口の増加により、地域経済の活性化に貢献。

19 年度-No.55　　宮崎県　都城市

雇用拡大による地域活性化

株式会社はざま牧場
（かぶしきがいしゃはざまぼくじょう）

http://www.f-hazama.co.jp/

取組分野：食物、交流

事業の概要

○1 次産業を基幹として 2 次・3 次産業と連携した活動で、合計 260 人の地域雇用を創出。

○牧場で製造する有機堆肥は、自社で野菜生産に用いるだけでなく、全国に広く供給することで循環型農業の拡大にも寄与。

○地域農業の担い手である社員や、遊休化している農地の保全活動により地域農業の維持に貢献。

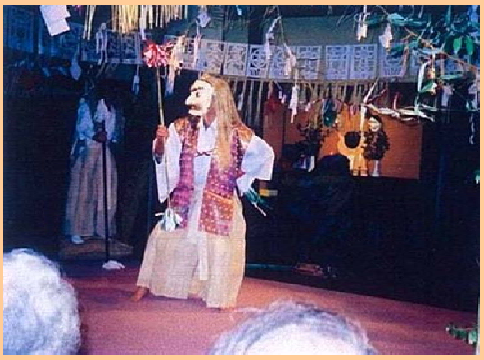
活用資源：特産

19 年度-No.57　　宮崎県　高千穂町

地元に伝わる神楽を活用した交流体験事業

五ヶ村村おこしグループ
（ごかむらむらおこしぐるーぷ）

HP　なし



取組分野：食物、交流

事業の概要

○平成 6 年の天岩戸温泉開業にあわせて地元住民で結成。地元産の材料を使った特産品を開発・販売し、地元の地産地消の先駆けに。

○夜神楽をメインに地域資源を活かした体験ツアーでは、お客さんとの触れ合いを大事にし、心と心の交流を図る。

○農作業体験や加工体験を通して食の大切さを訴え、食育活動、地域の農業後継者の育成を積極的に行う。

活用資源：自然、景観、特産、技術

取組分野
食物
交流
女性

20 年度-No.06　　山形県　鶴岡市

縁の下の力持ちから中核組織へ成長した女性の会

株式会社産直あぐり
（かぶしきがいしゃさんちょくあぐり）

http://www.santyokuagri.jp/

活用資源
特産

事業の概要

○農産物直売所から、地域の特色を活かした「フルーツタウン構想」の拠点として農産加工施設や農家レストランを整備。
○直売所や農家レストランの運営全般のほか、料理教室や体験農園、学校給食用の食材提供などで地域の女性が活躍。
○多彩なイベントの開催や店頭での対面販売、東京での産直販売など、地元消費者や都市住民と積極的に交流。

取組分野
食物
交流

20 年度-No.16　　石川県　加賀市

「子供農園」を核にした町づくり

高塚地区自然保全会
（たかつかちくしぜんほぜんかい）

HP　なし

活用資源
農地
特産
技術

事業の概要

○昔ながらの米づくりと食のありがたさ、米一粒の大切さを伝えるため、集落のほ場の一部を「子供農園」として開設。
○町内全戸の参加で実施する田植えや稲刈り、収穫祭などの行事は、家族から地域へ、さらには高塚町の輪を広げる活動へ。
○途切れつつあった高齢者の技術の次世代への継承や世代間・地域間の交流が、地区の高齢者の生きがいに。

20 年度-No.19　　長野県　池田町

「花とハーブの町」の新たな流通

金の鈴まごころ会
（きんのすずまごころかい）

HP　なし

取組分野：食物、交流

事業の概要

○農業の振興と街の活性化を目指して、商工会の女性グループと朝市を開設したことから農家と商店街、消費者が交流。

○町の「花とハーブの町」推進と農家の栽培するハーブ活用のため、平成 13 年よりホテル・レストランへのハーブ提供を事業化。

○厨房のシェフと顔の見える関係を築く中で新たな食材ニーズの発掘や地産地消の推進につながり、農家の生産意欲も向上。

活用資源：特産

20 年度-No.30

万願寺地区の町おこし事業

原始人会
（げんしじんかい）

http://www.genshijinkai.com/

取組分野：食物、交流、女性

事業の概要

○平成 12 年、町内有志 4 名で荒廃する山林の雑木から木炭づくりを始めようとしたことをきっかけとして地域活性化。

○木炭、木酢液、どぶろくの商品化や交流施設の建設を進めるとともに PR のための奇抜なイベントを開催し、地域が有名に。

○他地域からも幅広い年代が加入し、さらには農業を目指して移住する若者も現れ、地域を巻き込んだ活動はさらに発展。

活用資源：特産

活用資源
自然
伝統
景観

20 年度-No.31　　和歌山県　かつらぎ町

都市と農山村のネットワーク事業

かつらぎ町観光協会
（かつらぎちょうかんこうきょうかい）

http://www.katsuragi-kanko.jp

事業の概要

取組分野
交流

○町を PR するアンテナショップ出店を模索する中、平成 18 年より商店街の活性化に取り組む守口市土居駅前商店街と連携。

○空き店舗を活用した観光案内所での情報発信やイベント開催で、平成 18 年度、かつらぎ町への観光客は 100 万人を突破。

○平成 19 年度に開設したアンテナショップはメディアに多数取り上げられたほか、農家の安定的所得の向上にも寄与。

取組分野
食物
交流
女性

20 年度-No.33　　和歌山県　古座川町

ゆずを中心とした地域特産物で地域の活性化をめざす

農事組合法人　古座川ゆず平井の里
（のうじくみあいほうじんこざがわゆずひらいのさと）

http://www4.ocn.ne.jp/~yuzusato/

事業の概要

活用資源
景観
特産

○ゆずの生産・加工・販売を 1 組織に一元化することで事業の効率化を図り、さらに多様な販売先の開拓により収益増加。

○加工・販売部門では女性の力で運営、商品開発、広報、販路開拓を行う中で販売量が大きく増加し、供給量が不足するほど。

○研修の充実による新規就農者の増加や若年層の雇用促進と、オーナー制度や学生ボランティアの受入によりさらなる活性化。

20 年度-No.37　　佐賀県　鹿島市

農村女性中心の、こだわり直販活動

七浦地区振興会（千菜市）
（ななうらちくしんこうかいせんじゃーいち）

http://ww71.tiki.ne.jp/~nanaura/mitinoeki/senjaiti/senjaiti-1.htm

取組分野：女性

事業の概要

○青年の会の取組に触発された女性達が郷土食の研究など様々な活動に取り組む中で、青年の会とともに直売所を開設。
○商品にこだわりを持ち、直売活動に気持ちを込めて取り組めるよう、講演会等を開催し豊かな心を学び、組織の結束も強化。
○女性の主体的な農家経営への参画で地域全体の農業への意欲が向上したほか、多様な組織の連携が地域振興の拠点に。

活用資源：特産

20 年度-No.38　　長崎県　五島市

島内初の有人直売所で地産地消を推進

五島こだわろ会
（ごとうこだわろかい）

HP　なし

取組分野：食物

事業の概要

○有人の直売所を設置しよう、という認定農業者の働きかけに農産物加工グループや漁業者も賛同し、平成 16 年に会を結成。
○「生産者の顔が見える新鮮な農水産物の販売」をモットーに、小売りだけでなく、給食センターなど大口需要者とも連携。
○それまで自家用であったものも販売できるようになったことで所得の向上が図られたほか、生産意欲も向上。

活用資源：特産

取組分野
食物
交流

20 年度-No.41　　大分県　豊後大野市

牛と椎茸と人づくりに生きる里山

温見地区連絡協議会
（ぬくみちくれんらくきょうぎかい）

HP　なし

活用資源
自然
伝統
特産

事業の概要

○地域の小中学生への食育から地域の素晴らしさを伝える「農育」とともに、新たなむらづくり組織と農業生産組織が連携。

○自然条件を活かした椎茸生産と林間放牧の両立が肉用牛の多頭化と高品質椎茸栽培につながり、地域活性化の源に。

○肉用牛生産での「ヘルパー組合」による支援活動や、新たに団地に入ってきた住民との交流により地域内が活性化。

取組分野
食物
循環
情報

20 年度-No.42　　宮崎県　都城市

地域と一丸となった生産体制

農業生産法人（有）新福青果
（のうぎょうせいさんほうじんゆうしんぷくせいか）

http://www.shinpukuseika.co.jp/

活用資源
特産

事業の概要

○安全・安心に取り組む栽培方法にこだわり、その情報をわかりやすく提供することによる生産者の顔の見える商品づくり。

○地域の畜産農家や一般家庭、レストランとの連携で完熟堆肥をつくり、環境にも配慮した循環型農業を実践。

○IT の導入や農産物の輸出などの新たな取組だけでなく、生産者、加工業者と連携し、地域一丸となった生産体制を構築。

20 年度-No.45　　沖縄県　伊江村

ヒューマンツーリズムで元気なふるさとづくり

社団法人伊江島観光協会
（しゃだんほうじんいえじまかんこうきょうかい）

http://www.iekanko.jp/

取組分野：交流

事業の概要

○年々観光客が減少する中、日帰り型から滞在型観光への転換として修学旅行生の受入を中心とする民泊事業を開始。
○受入家庭の家業の手伝いを通じて島の暮らしを体験させ、人間的な交流を深める「ヒューマンツーリズム」を推進。
○年間受入生徒数は 2.3 万人、民泊収入が 6 年で 65 倍増と、地域経済に大きく貢献。

活用資源：自然、観光

20 年度-No.46　　沖縄県　中城村

産学連携による山羊乳ビジネスの推進

農業生産法人株式会社はごろも牧場
（のうぎょうせいさんほうじんかぶしきがいしゃはごろもぼくじょう）

http://www.hagoromo-bokujo.co.jp/

取組分野：食物、参入

事業の概要

○沖縄市で開催された全国山羊サミットで山羊乳の機能性と可能性について知ったことをきっかけに、建設業から参入。
○産学連携による研究開発で山羊乳の生乳だけでなくヨーグルトやチーズ、健康補助食品、石けん等、用途開発・販路開拓。
○独自の山羊文化が形成される沖縄で、山羊文化全体の発展・継承につながるよう地元の農家との連携を構築。

活用資源：特産